

# 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム論文の作成と 電気学会 E 部門誌への投稿のご案内

電気学会 E 部門編修委員会 副委員長  
式田光宏

## 第 24 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムへ論文を提出される皆様へ

平素は電気学会 E 部門誌に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて第 24 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムでは、プロシーディングスに掲載する論文をそのまま E 部門誌に正式な論文として投稿できるようになりました。この機会に E 部門誌へ投稿されることを強くお願い申し上げます。電気学会への投稿に関しましては、下記の電気学会ホームページに詳細がありますのでご参照ください。電気学会へは論文の他にも提出する書類がありますのでご確認ください。

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/14-magazine/index030.html>

ホームページからは、電気学会論文用テンプレートが取得できます。第 24 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムの論文フォーマットは、電気学会への論文投稿を考慮して電気学会論文フォーマットとほぼ同じに設定されておりますが、次の 6 点について相違がありますのでご注意ください。

1. 電気学会論文フォーマットには、「論文誌テンプレート」というヘッダーが表示される。
2. 電気学会論文フォーマットには、1 ページ目の右上部に「Paper」という文字が表示される。
3. 電気学会論文フォーマットには、[電学論 E……] (奇数ページ) または「IEEJ Trans.……」 (偶数ページ) というフッターが表示される。
4. 電気学会論文フォーマットには、3 ページ以降の奇数ページのヘッダーに「TITLE」という文字が表示される。
5. 電気学会論文フォーマットには、写真付きの著者紹介の欄が必要である。
6. 電気学会論文フォーマットでは、著者名とともに会員、非会員の記載が必要となる。

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム用論文の作成には、電気学会論文テンプレートを利用されることをお勧めいたしますが、この場合上記 6 つの相違に対するご配慮をお願いいたします。電気学会論文テンプレートとしましては、MicrosoftWord ファイルと TeX ファイルが電気学会ホームページから提供されておりますが、論文を電気学会論文フォーマットで作成した後に、「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム用論文に変更する方法を次に示します。

### MicrosoftWord の場合

1. 「論文誌テンプレート」ヘッダーの削除方法
  - Word において、「表示(V)→ヘッダーとフッター(H)」とたどりヘッダーとフッターダイアログ画面を表示させる。
  - 「論文誌テンプレート」の文字上にマウスを置き、クリックすると「論文誌テンプレート」の文字が挿入してあるテキストボックスが選択状態になる。
  - テキストボックス選択状態で、キーボードの削除キーを押す。
2. 1 ページ目右上部の「Paper」という文字の削除方法
  - 「Paper」という文字の上にマウスを置き、クリックしてテキストボックスを選択状態にする。
  - キーボードの削除キーを押して削除する。
3. [電学論 E……] (奇数ページ) または「IEEJ Trans.……」 (偶数ページ) というフッターの削除方法

- Wordにおいて、「表示(V)→ヘッダーとフッター(H)」とたどりヘッダーとフッターダイアログ画面を表示させる。
  - フッター部分にカーソルを持っていき、消す文字を選択して削除キーを押す。(これは一つの例です。文字を消す方法は他にもあります。)
4. 奇数ページのヘッダーの「TITLE」という文字の削除方法
- Wordにおいて、「表示(V)→ヘッダーとフッター(H)」とたどりヘッダーとフッターダイアログ画面を表示させる。
  - ヘッダー部分にカーソルを持っていき、消す文字を選択して削除キーを押す。(これは一つの例です。文字を消す方法は他にもあります。)
5. 著者紹介の削除方法
- 著者紹介の部分を選択して削除キーを押す。(これは一つの例です。文字を消す方法は他にもあります。)
6. 著者名表記の際に会員、非会員の記載は不要。

#### TeX の場合

- 電気学会からダウンロードしたクラスファイルをテキストエディタで開き、上記に対応する部分を削除する。
- 著者紹介部分を作成した論文から削除して、上記クラスファイルを利用してコンパイルする。

(「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム用 TeX クラスファイルの配布を希望される方は、香川大学橋口までメールでご連絡ください。こちらで修正したクラスファイルをメールでお送りいたします。なお、電気学会提供のクラスファイルを変更して利用していませんので、電気学会及び「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局はこれにより生じるトラブルに関して、その責を負いかねますのでご注意ください。)

#### 連絡先:

香川大学 橋口のメールアドレス [hasiguti@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:hasiguti@eng.kagawa-u.ac.jp)

なお、電気学会への投稿規程として以下の会員規程がありますのでご承知おきください。もし、電気学会会員の方が著者にいない場合は、是非この機会に入会をお願いいたします。

#### 投稿者の資格規定

投稿者は原則として本会会員に限る。投稿者が連名の場合は、少なくとも1名が本会会員でなければならない。ただし、外国からの投稿は非会員でも受け付けます。

ご不明な点がございましたら、香川大学橋口先生 [hasiguti@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:hasiguti@eng.kagawa-u.ac.jp)、あるいは、京都大学土屋智由先生 [tutti@mech.kyoto-u.ac.jp](mailto:tutti@mech.kyoto-u.ac.jp) までメールにて気軽にお尋ねください。

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムと同時投稿されると、同シンポジウムへの投稿料が無料となります。(シンポジウム参加費は必要です。)ただし電気学会論文誌の掲載に関しましては、電気学会の規定に従いまして論文掲載料を申し受けます。電気学会投稿受付番号を8月31日までにシンポジウム事務局までご通知ください。ご通知受領後にシンポジウム投稿料は無料になります。

なお電気学会に同時投稿される場合は、“センサーシンポジウム同時投稿論文”であることを明記して電気学会に提出してください。E部門では現在 Web 投稿を推奨しております。Web 投稿の場合、投稿/原稿情報・投稿者情報の Web ページの下段に、備考欄(事務局への連絡欄)があります。その部分に記載をお願いいたします。

では、皆様の E 部門誌への投稿を心よりお待ちしております。